

# やまんなか便り

発行元：南山城村役場 産業観光課

発行日：令和5年10月1日



開館：水・金・土  
10時～16時

## やまんなか ランチ会



↑前回のメニュー

少しずつ涼しくなってきましたね！いよいよ味覚の秋がやってきます♪季節の美味しい食材を用意して、お待ちしております(≧▽≦)毎月恒例のランチ会はどなたでも参加

していただけます！初めての方も大歓迎！

お気軽にお問合せください。

【日時】R5年10月18日(水)

【時間】12時30分～

【参加】600円程度 ※未就学児以下無料

【申込】**要予約**。お電話またはメール、スタッフまで

※万が一、参加希望が多い場合は、人数を制限する場合があります。

空き家バンク  
アドバイザーの

空き家  
無料相談会  
同時開催！



移住交流スペース「やまんなか」(田山の郵便局のお隣り)

田山上フケ 10-4 ☎ 0743-94-0666

✉ murapura163@gmail.com

ワイワイ情報交換

## 種の会

テーマは『獣害』。イノ、シカ、サル！みんなどうしてる？種や苗のためにも、いろいろな情報や対策を共有しましょう！秋冬野菜の種や苗の交換もします。

【日時】R5年10月18日(水)

【時間】13時30分～15時

【参加】無料(出入自由)



田山花踊りをもっと知りたい！

## 花踊りのおはなし会

京都府指定無形民俗文化財に登録されている「田山花踊り」は、室町時代からあったといわれる雨乞いの神事。3年ぶりの開催を前に、花踊りを知る会を開きます。みんなで資料を読んだり、花踊りに関わっている方からのお話を聞いたりして、花踊りをもっと楽しみませんか。

【日時】R5年10月27日(金)

【時間】14時～

【参加】無料(出入自由)



手づくりを楽しみたい

## ちくちく手しごとの会

やりたい手仕事を持参して、各自の作業を楽しみましょう♪前回好評の羊毛フェルトも一緒にやってみてみたい方はご相談ください♡

【日時】R5年10月20日(金)

【時間】13時30分～

【参加】無料(出入自由)



鼻笛・オカリナなど

## みんなで笛を吹こう会

11/26の直売所イベント出演に向けて、練習します。見学も大歓迎！お気軽にお立ち寄りください(^^)／

【日時】R5年11月1日(水)

【時間】10時～12時

【参加】無料(出入自由)



<来月のイベント>



11/15(水)

鯖寿司作り体験

※詳細は来月号でご確認ください。

# 「稲刈り」「脱穀」まで、山あり谷ありの米づくり

移住交流推進員

野崎弘之

今年も稲刈りの季節がやってきました。毎年「暑い～」と言いながら作業をするのですが、今年はとりわけ身体にこたえる暑さだったように思います。そんな暑さの中でも、また大勢の方々が参加してくれました。昨年に引き続き参加してくれる方が半数以上でしたが、初めて参加される方の中には東京・埼玉・名古屋、さらには札幌など！かなり遠方からの参加があり驚きました。最近「ワーケーション」というスタイルで、都会の人が地方で長期滞在をしながらリモートワーク



をするケースが増えてきており、奈良や伊賀に滞在している時に南山城村の米づくりの情報を知ったのだとか。どこでどんな風に情報が広がるのか、予想だにできない時代になったものですね。

さて、毎年の事ですがこの素人集団で行う稲刈り・稲架掛け作業は、基本的には「見様見真似」です。素人集団で「なんとなくこんな感じでいいんじゃない？」という状態に仕上げてはみるのですが、2日後



には雨に降られて重みで稲架が倒れるなんて事が起こってしまいます(笑)。振り返ると、今年の米づくりはスタートから問題だらけでした。最初は、約15年間「耕作放棄地」だった田んぼに手をつけたのですが、田植えができる状態にまで辿り着けずに断念し、結局は他の田んぼを急きょ借りることになりました。そして2枚の田んぼを借りたので「コシヒカリ」と「ヒノ



ヒカリ」をそれぞれ1枚ずつ植える事にしましたが、品種が違うので当然ながら生育に差が出てくるのです。そのため、稲刈りと脱穀の時期もそれぞれの生育に合わせなければならぬという事態に気付かされました。また今年は、例年以上に雑草にやられて、米の収量も少なくなってしまったようで、思い返せば今年は散々な米作りになったなあと(-\_-;) それでも、こんなに大勢の方々が参加してくれて、たくさんの笑顔と笑い声を



残していってくれました。「唐箕」や「足踏み脱穀機」を見て「博物館でしか見た事ないです！これを使うなんて、貴重な体験です♪」などと、むしろ喜んで作業をしてくれていた印象です。この「昔ながらの米づくり」を通して、彼らがまた翌年も参加してくれて、そして新しい参加者との出逢いがあり、また新しい笑顔が生まれるという現象が起こってくれると企画者冥利に尽きますね☆

